

流通とSC・私の視点

2017年4月29日

視点(2081)

近未来の流通業界における2大覇権業態の姿!!

(SC理論編)

SCの近未来における姿の比喩論として「マダガスカル島のチンパンジー登場現象」があります。現在、流通業界の覇権業態はSC（マダガスカル島におけるキツネザル）ですが、近未来にはネット通販（マダガスカル島に仮定としてチンパンジーの登場）がSCと平行して「2大覇権業態」を形成することが予想されます。

私見として、近未来（2035年時点・20年後）を「1つの固有マーケットの事例」「現時点の統計指標」「将来の週通業界の動向」の3点を基に推計すると次の通りです。

業 態		マーケットシェア		内 容	
SC	RSC	18%	60%	3RSC (6.8%×2+4.4%)	
	非RSC	12%	40%		
	小 計	30%	100%		
非SC	ネット通販	20%	3RSC分 (6.8%×3SC)		50%
	一般店	50%			
	小 計	70%			
合 計		100%			

これを1つの固有マーケット及び日本の流通統計の面から見ると、次のようになります。

業 態	1つの固有マーケット(5,600億円)		全国(2017年時点135兆円)		
	金額	算 定	金額	算 定	
SC	RSC	1,008億円	5,600億円×18%	24兆円	135兆円×18%
	非RSC	672億円	5,600億円×12%	16兆円	135兆円×12%
	小 計	1,680億円	5,600億円×30%	40兆円	135兆円×30%
非SC	ネット通販	1,120億円	5,600億円×20%	27兆円	135兆円×20%
	一般店	2,800億円	5,600億円×50%	68兆円	135兆円×50%
	小 計	3,920億円	5,600億円×70%	95兆円	135兆円×70%
合 計		5,600億円	1つの固有マーケット内の購買力	135兆円	現在の小売販売額

SC（キツネザル）の売上高は30%（現在24%）となり、そのうちRSCと非RSCの割合は40%：60%と推定されます。SCの売上高は新陳代謝を繰り返しながら40兆円（現在30兆円）となります。一方、ネット通販（チンパンジー）は20%（現在3～5%）となり、1つの固有マーケットの中にRSC3個分のシェアとなり売上高は27兆円（現在3～6兆円）となります。その結果、2大流通覇権業態のSCとネット通販（Eリテール）は50%となり、売上高67兆円（現在35兆円）となります。

また、RSCの成長力は新陳代謝を繰り返しながら1.3倍程度に増大しますが、ネット通販は4倍以上となります。なかでも、SCは飽和期から成熟期にかけて激しい新陳代謝（旧式SCと新式SCの入れ替わり）が起こり、SCは多様化の道を進みます。

さらに、2035年になるとリアル店舗（SC）とバーチャル店舗（ネット通販）の2つの業態は融合するため区分がなくなり、ネット販売の売上高は単なる統計上の表現となります。

SCは経験・体験・感動の場化（プレイスメイキングによる空間演出）や常に斬新性（MDing&テナントミックス）やバーチャル店舗との融合（クロスチャネル化、オムニチャネル化）が進むと同時に、SCの多様化を伴い、2035年までは新陳代謝（淘汰あるいは長期低落化のSCと新時代のSCの入れ替わり）をくり返しながら増大します。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六 車 秀 之